

令和7年（2025年）4月1日発行

新入生の皆さんへ 理事長からのメッセージ

す。皆さんの体験が、真っ白な
の時、3学部7学科の多様なア
プローチに触れ、博物館を訪れ、ま
た、ものづくりを試み、あるいは先
輩たちの製作物を見る。きっとそ
れらはよき体験となることでしょ
う。今やテクノロジーはブラック

エンジニアの ミッション

日本工業大学に入学された皆さん、ようこそ。広く緑豊かなキャンパスには見どころがたくさんあります。まずは新しい友人たちと歩いてみてください。それぞれ、ご自身の関心に沿った「界限」、居場所がやがてできることと思いま



理事長
柳澤 章

さて近年、急激な技術開発や製品・サービスの市場展開に人間が対応しきれない状況にあると言わざるをえません。SNSが心身に与える深刻な影響、そして気候変動・大規模災害などは人類全体の課題です。海外では「フォン・フ

リー・フェブラリー」、スマホ断ちの2月といったムーブメントも起きているようです。
皆さんが技術を学び、課題と格闘しながら自らのものとしていく中で、何のための技術か、を問う場面もあるでしょう。そんなとき、世の中に目を向けると、社会課題の解決の力ぎとなっていたり、想定していなかった場面で活躍していることを知るでしょう。地中の水道管の漏水リスクを宇宙ビッグデータから解析するという、一見遠くかけ離れたものをつなげた事業も登場しています。
技術を磨き、やがてエンジニアとしてのミッションを自問するようになると、一人前に近づいた証かもしれません。成長をしてみてください。健闘を祈ります。

ボックス化していますが、例えば鉄道の原点である蒸気機関車が右炭で車輪の回転運動にするのはどういうメカニズムなのか。「見える化」してくれるのが、本学が動態保存するSLです。気づきに溢れているのが本学キャンパスです。



ようこそ 美工学のキャンパスへ

新入生の皆さんへ 学長からのメッセージ

好奇心のアンテナを広げよう



学長
竹内 貞雄

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは、どんな夢や希望をもって本学に入学しましたか。プログラミングを極めたい、課外活動を通じて友人を作りたいなど、色んな「夢中の種」を胸に秘めていることでしょう。皆さん

葉です。「非常に小さな出来事が、他の事象に相互に影響を及ぼし、うと、最終的に予想もつかない大きな出来事につながるかもしれない」ということを示唆しています。革新的な発見や発明は、無駄に見えるような回り道の過程で生ま

んにお伝えしたいのは「夢だけを追わず『回り道』を楽しむ心持ちを意識して欲しい」ということです。ところで「バタフライエフェクト」という言葉を知っていますか。気象学者のエドワード・ローレンツの数値予報の研究に由来した言

れることが良くあります。Appleの創業者スティーブ・ジョブズ氏は、カリグラフィ（書体）の授業に潜り込み、マッキントッシュの美しいタイポグラフィにつながったという話は有名です。同氏は色んな回り道をするこ

革新的な製品を生み出し続けました。ITスキルだけを追求していたら、スマートフォンもタブレット端末も生まなかったでしょう。あなたにとっての「回り道」を自分自身で見つけて欲しいのです。大学の学びは高校までとは異なり、色んな情報の中から、取るべき行動を自分で取捨選択する必要があります。その選択する基準に「損得」だけではなく、「面白そうか」といった「好奇心のアンテナ」も加えて、専門以外のことも挑戦して欲しいのです。そこで出会った人や考え方は、バタフライエフェクトのように予想を超えた良い影響を生み出すことになるでしょう。教職員一同は、そのための取り組みを全力でサポートします。

学生自治会主催イベントの紹介

挑戦や成長ができるイベントに積極的に参加しよう！



学生自治会
中央執行委員長
中林 彩登

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。学生自治会を代表して心より歓迎します。
皆さんは今、新しく始まる大学生活への期待と不安で胸がいっぱいだと思います。大学生活は自由度が上がり、「挑戦」や「成長」ができる環境です。
ぜひ、少しずつ大学を知り、あらゆるものを活用してほしいと思います。
ここで紹介する学生自治会のイベントは、規模が大きく、真面目なもの、楽しいものと色々あります。きっと新しい交流や経験に出会えることでしょう。ぜひ、気軽に参加して、大学生活をより充実したものにしてください。
皆さんが新たな岐路に立つとき、より良い大学生活だったと思うよう、自分なりの方法で有意義なものにして、楽しんでください。



本プログラムは技能と関連知識を並行して修得する、本学独自の実践的技術者育成プログラムである。
技能を習得するための施設や場所を「工房」と称し、13の工房ごとに個別のものづくりテーマを設定。履修者は1学年から希望する工房に所属し、担当教員の指導を受けながら3年かけて企画、設計、製作・施工に一貫して取り組む

カレッジマイスタープログラムのススメ



フォーミュラ工房



温故知新ものづくり学



知能化モビリティ

機械加工工房	知能化モビリティ	ロボット製作プロジェクト	物理体感工房	ロボットボランティア
フォーミュラ工房	Science Grit	フィジカルコンピューティング工房	温故知新ものづくり学	
プロダクトデザイン工房	ヒューマノイドロボット研究	木造建築工房	SDGs for Engineers	

※開始時期を2学年、履修期間を2年間に設定している工房もある。

とともに、対応する工房科目を受講して関連知識を修得する※。こうして個人あるいは共同で作品を完成させたり、研究成果をまとめてプログラムを修了した学生には「カレッジマイスター」の称号とメダルが与えられる。
本プログラムは全員必修ではないものの、実工学教育を掲げる本学に入学したからには、是非とも挑戦していただきたい。

皆様のご入学を心より歓迎いたします

教務部長からのメッセージ

皆さんは「勉強が楽しい」って思ったことはありませんか？ほとんどの人は、これまで勉強しないといけないという義務感に縛られていたのではないのでしょうか。憲法上、中学までが義務教育ですが、99%が進学し、クラス毎にはほぼ同じ時間割で勉強する高校での学びも義務教育の延長線上にあったと思います。

今年の干支の巳年は、蛇の脱皮のように、再生や成長を象徴する年と言われています。巳年に大学入学を果たしたこの節目を機に、義務という固定観念の殻を破り、自由な発想で楽しく学んで大いに成長して欲しいと願っています。

高校までと異なり、大学では「主体的な学び」が基本的な姿勢として重要です。



義務から主体的な学びに脱皮しよう

教務部長・教授 吉野 秀明

皆さんは「勉強が楽しい」って思ったことはありませんか？ほとんどの人は、これまで勉強しないといけないという義務感に縛られていたのではないのでしょうか。憲法上、中学までが義務教育ですが、99%が進学し、クラス毎にはほぼ同じ時間割で勉強する高校での学びも義務教育の延長線上にあったと思います。

学科長・学群長からのメッセージ

機械工学科



ものづくりの優しさ

学科長・教授 神 雅彦

和菓子が好きです。一方、厭忌すべきも木型に餡を入れて、織りこめられた細工。食べたら無くなるものなのに、職人さんは相手を想いながらつくります。いただく側はそなたを大切にしたい。ものづくりの優しさなど存在しません。大学とは、そんな思索をするところ。人の最旬の頃にとっても贅沢な時間です。どっぷり浸かってください。い。ただし、大学の住民権は単位をとることで保証されていることは忘れずに。

電気情報工学科



未来への準備

学科長・教授 木許 雅則

新たに仲間となる皆さんを心より歓迎します。本学科は、電気電子・情報通信に関する広範な分野を網羅しており、理論的な知識だけでなく、実際の応用に焦点を当てた学びを提供しています。卒業時には産業界で必要なスキルが身につくエンジニアとして幅広く活躍出来るでしょう。但し、四年間をどのように充実した学生生活を送ってほしい。

環境生命化学科



ようこそ環境生命化学科へ

学科長・教授 芳賀 健

4月1日から、応用化学科から環境生命化学科へ名称変更しました。皆さんは、その1期生になります。当学科では、化学をベースにしたモノづくりや、マイクロプラスチックや地球温暖化などの環境問題を扱っています。不思議な働きを明らかにしたりする研究を行っています。皆さんの中には、入

建築学科



建築を広く学んでください

学科長・教授 樋口 佳樹

建築という分野は非常に広く、私たちの身の回りは建築にあふれています。住宅や公共施設、都市計画といった規模の視点もあれば、歴史・意匠、計画、構造、設備などの専門分野の視点もあります。日常では当たり前の存在でありながら、いざ学問として向き合うと、その奥深さに圧倒されるかもしれません。

ロボティクス学科



大学生活を意欲的に

学科長・教授 安原 鋭幸

皆さんは、これらの便利なロボットやAIのツールを使う側の答えはないですが、自我が宿る可能性が議論されるなど、AI技術は進歩し続けます。皆さんは、これらの立ち返って向学心を高めながら、意欲的に大学生活を送ってください。

情報メディア工学科



先端技術と向き合うエンジニアへ

学科長・教授 勝間田 仁

AI技術をはじめとする先端技術は、私たちのライフスタイルや産業構造に大きな変革をもたらしています。先端技術が急速に進化する時代に、情報メディア工学科で学ぶ皆さんは、授業での知識や技術の修得にとどまらず、「社会に役立つアイデア」を生み出すために、どのような知識や技術が必要か、どのように活用できるかを学ぶ皆さんに

データサイエンス学科



卒業の出口をよく考えよう

学科長・教授 桑野 文洋

今年度、データサイエンス学科は完成年度を迎えました。来年の三月には最初の卒業生が社会に旅立ちます。これまでデータサイエンス学科教員の研究室に所属し、卒業した学生たち、情報メディア工学科の学生ですが、彼らの多くは情報系企業に就職しています。データサイエンス学科初の卒業生はどうでしょうか。情

共通教育学群



ふくらめ好奇心

学群長・教授 佐藤 杉弥

みなさんが得たのは、たくさんの出会いのチャンスです。多くの授業があります。立派な施設があります。さまざまな地域から来た同級生がいます。高校に

これから始まる大学生活の心構えとして、基礎をしっかりと学び、試行錯誤を繰り返しながら自分の強みを見つけてください。焦らず、自分のペースで経験を積み重ねてください。興味のあることはもちろん、これまで関心なかったことにも挑戦してみてください。

本学では、課外活動も大きな成長の場となっています。クラブ・サークル、学生自治会活動、技術系プロジェクトや研究活動などに積極的に参加することで、新しい仲間と出会い、先輩・後輩とのつながりを持ち、共に成長することが出来ます。所属学科の枠を超えた学生たちとの交流を通じて、大学生活を有意義なものにしてください。



挑戦と成長の大学生活
学生支援部長・教授 上野 貴博

充実した大学生活を送れるよう、さまざまな学生支援制度を整えています。学修支援センターでは学業に関するサポートを受けることができ、キャンパスソーシャルワーカーや学生相談室では、大学生活の悩みや不安を気軽に相談できます。また、健康管理センターでは、健康相談や医療サポートを通じて、皆さんの健康管理をサポートしています。さらに、キャリア支援や就職相談も充実しており、卒業後の進路選択をしっかりと支援します。困ったことがあれば、一人で抱え込まずに、遠慮なく周囲に相談してください。



菅原有香子
財務課
江原 慎一

財務課は、本館108室にあり、学費等の収納や経理全般及び資産管理を行っています。学費等に関するご相談（延納含む）や両替等はお気軽に窓口にお越しください。皆様の大学生活が充実したものになるよう職員一同全力でサポートいたします。



就職支援課
日下部 真樹

就職支援課は、学生一人ひとりの夢実現をともに目指します。1・2年次は将来を見定めたプランの構築を支援するキャリア教育、3年次からは就職活動の流れに沿ったガイダンスや、きめ細やかな個別相談により、学生の夢の実現をサポートします。



学生支援課
齊藤 望

クラブ活動や人との交流を通じて、多くのアクティビティに挑戦してください。大学で新しいことに挑戦することで身につく深い思考力や判断力、そして他者に働きかける力は、様々な問題を解決するときに必ず役に立ちます。



教務課
穴井 正洋

教務課は、これから皆さんが4年間の学生生活を安心して学業に取り組むことができるようにサポートします。学業に関して疑問や不安に思うことがありましたら、一人で悩まずに、気軽に教務課に相談してください。



学修支援センター
大出 明

学修支援センターでは「分からないところをそのままにしない」を合言葉に、学習指導、履修相談をはじめ生活全般の相談に対応しています。みなさんの「大学生活の困った」をサポートします。チューター、スタッフと一緒に解決しましょう。



健康管理センター
松井 克典

健康管理センターは、学生及び教職員の健康相談や応急処置、運動指導を担当します。原則週1回、校医による健康相談も実施していますので、気楽にお越しください。また、定期健康診断を受診した学生には、健康診断証明書を発行します。



LCセンター
鈴木 史朗

当センターは、20万冊の図書と魅力的な大空間に学習スペースを持つ巨大な図書館複合施設です。スマホに時間を奪われがちな日常ですが、授業の合間に穏やかで静かな環境の当館で本や雑誌を開いてみませんか。スタッフ一同お待ちしております。



英語学習
サポートセンター
神 雅彦

科学技術に国境はなく、英語力が皆さんの未来を明るくします。外国人講師がいる英語学習サポートセンターは、皆さんが英語を学んで活用する場です。TOEICや英会話、留学など、英語力の向上や異文化理解に関するサポートを行っています。



留学生センター
川島 信也

私たちは、留学生の皆さんをきめ細やかにサポートします。生活面や学業面などで分からないことがあったら、まず留学生センターへ気軽に相談してください。交流イベントの場である「コミュニティラウンジ」も、自習の場としても利用できます。



学生相談室
川合 耕一郎

学生生活に関わる心の相談に専門家が対応します。大学での勉強や生活に馴染んでいく中で、様々な不安や困り事が生じてくるものです。どんな小さな事でも結構ですので、まずはぜひご相談ください。保護者からのご相談にも応じています。



スチューデントラボ
櫛橋 康博

スチューデントラボは、発想を自分の手で形にできる場です。機械加工、電子工作、木材加工に必要な道具や工作機械を揃え、個人・団体、学年問わず、専門職員による指導も受けられます。積極的に活用し、「ものづくり」する楽しさを体験してください。



学園情報システム部
石井 一浩

学園情報システム部は、情報システム運営管理を担っています。情報システムは学生生活に欠かせません。セキュリティに十分注意し、ルールを守って利用してください。ご不明点があれば、お気軽にお問い合わせください。

私たちが皆さんの大学生活をサポートします!!

経営資源の制約を乗り越える

大学院技術経営研究科・教授 三宅 将之

専門職大学院だより

大企業と比較して経営資源の制約が課題だとおっしゃる中小企業経営者が多い。財務・人材・設備の面で劣っており、それが新規事業や成長の妨げになっていると考えておられる。しかし、価値創造に向けた優れた事業構想力と関係構築力などを発揮すれば、直面する資源制約を乗り越えることができるはずだ。

このような点を、社内外の関係者に対して長期ビジョンと戦略として提示のうえ共有することが不可欠である。足元の利益だけでなく、持続可能な成長を目指し賛同をえることで付加価値を創造する。

中小企業は人材に限られていることが多いが、専門スキルを有する外部人材との接点の探索や、他企業との協働も有効である。この活動を通

信頼を得やすくなる。

中小企業は人材に限られていることが多いが、専門スキルを有する外部人材との接点の探索や、他企業との協働も有効である。この活動を通

中小企業が資源制約を乗り越え発展するためには、資金調達が多様化、人材育成と外部リソースの活用、施設・設備の効率化、長期ビジョンと戦略の確立による創造的なアプローチと持続的な努力、そして経営者の「胆力」が求められる。

NIT朝食

栄養満点
おいしい朝食が
100円で
食べられます!!

実施日や時間
など詳細は特
設サイトで



NITクリエイト
林 勇司

NITクリエイトは、学生食堂・売店運営、資格取得・保険相談、アパート紹介、および学内の清掃・警備等の業務を行っており、皆様の学生生活をサポートします。ぜひ一度スチューデントサービスデスクまでご相談にお越しください。

資格等取得奨励金支給制度

必要な資格を取得して奨励金を申請しよう!

対象資格の例	技術士 (第1次試験) 10万円	二級 建築士 10万円	システム アーキテクト 10万円	宅地建物 取引士 5万円	TOEIC 1~10万 ※点数による
--------	------------------------	-------------------	------------------------	--------------------	--------------------------

学生が主体的に学び、将来のキャリアに活かすため、資格等の取得を奨励しています。2023年度は82名に奨励金を支給しました。詳細は教務課、本学WEBサイトで。



日本工業大学学業奨励奨学金(新2・3・4年生) 大川陽康奨学金受給者

学業奨励奨学金は学業成績・人物ともに優秀な学部生を対象とし、エクセレントスチューデントに年間50万円、リマーカブルスチューデントに年間20万円が給付される。大川陽康奨学金は同じく大学院生を対象とし、年間20万円が給付される。

2025年度 日本工業大学学業奨励奨学金受給者

ES：エクセレント スチューデント				
年次	2年次	3年次	4年次	
学部	氏名（出身校）	氏名（出身校）	氏名（出身校）	
基幹工学部	平塚 裕太（所沢）	近藤 礼也（深谷第一）	清水 優志（浦和南）	
	内山 寿人（宇都宮工業）	別府 伊純（越谷西）	松島 誠直（館林）	
	古関 立（浦和工業）	田中 翔（越谷西）	浦山 則之（市川工業）	
	佐々木 朔矢（小山）	金沢 怜歩（白河実業）	坂本 琉生（熊谷）	
	川口 結愛（小山）	藤貴 大翔（下館工業）	松下 真実（宇都宮南）	
先進工学部	門脇 佳路（水戸工業）	横尾 和宏（花咲徳栄）	町田 迭三（宇都宮工業）	
	竹下 真由（大宮中央）	平野 快（越谷東）	白滝 幸治（鴻巣）	
	北藤 優奈（春日部女子）	河野 ダニエルゆうじ（久喜工業）	菊池 駿太（開智）	
建築学部	田口 颯（水戸工業）	山口 こころ（一ツ葉）	井上 佳音（山形工業）	
	渡邊 陵介（宇都宮工業）	沼尾 菜月（宇都宮中央女子）	山中 杏心（会津工業）	
	平田 美怜（つくば工科）	川島 彩（春日部工業）	石川 楠桜（市川工業）	

RS：リマーカブル スチューデント				
年次	2年次	3年次	4年次	
学部	氏名（出身校）	氏名（出身校）	氏名（出身校）	
基幹工学部	丹羽 美月（明聖）	高田 宏弥（工芸）	片山 友貴（伊奈学園総合）	
	谷田部 大喜（宇都宮工業）	柏崎 晃佐（春日部工業）	小池 俊輔（川口）	
	長谷川 拓生（太田工業）	小島 空斗（船橋二和）	今井 琢斗（久喜北陽）	
	狐塚 哉汰（鹿沼）	落合 一鷲（越谷総合技術）	進士 侑莉愛（下田）	
	江森 寛将（本庄）	木村 颯良（新田暁）	西野 龍太郎（高岡）	
	茂呂 和倫（小山西）	相馬 汰良（弘前工業）	高根沢 一斗（那須清峰）	
	木住野 博夢（大宮工業）	柴村 翔大（松山）	植木 崇広（N）	
	宮澤 伶和（甲斐清和）	大野 透（玉造工業）	横倉 未央（足利女子）	
	和澤 歩美（浦和麗明）	大井 康輔（久喜工業）	西村 慈郎（水戸啓明）	
	鈴木 慎人（大宮工業）	伊藤 創磨（青森工業）	関根 舜一郎（越谷西）	
先進工学部	山崎 裕司（大宮工業）	安藤 誠悟（栃木工業）	戴 加驊（衢州中等專業学校）	
	大塚 藍人（館林商工）	丸山 悠来（松本工業）	大藤 大翔（狭山工業）	
	伊藤 天音（栃木女子）	薄田 夏樹（葛西工業）	大島 裕也（久喜工業）	
	小檜山 翔月（春日部東）	木村 文哉（熊谷西）	伊藤 敦（西武台千葉）	
	上妻 雄斗（清陵情報）	福田 明真（鹿島学園）	石川 真悟（獨協埼玉）	
	木村 悠愛（栃木翔南）	井達 騎良（進修館）	関根 智輝（久喜工業）	
	永沼 謙伸（杉戸）	佐藤 颯汰（朝霞西）	SOON ZHENG DONG (CHUNG LING HIGH SCHOOL)	
	田村 陸斗（佐野松桜）	佐藤 壮瑠（浅草）	荒井 晃輝（下館第二）	
	浅見 太惺（澁川工業）	乙部 萩（青森工業）	伊藤 翔馬（浦和学院）	
	山中 蒼斗（越谷総合技術）	鈴木 貴大（熊谷西）	篠田 朝陽（足利）	
建築学部	渡邊 叶夢（学悠館）	堤 大豪（十和田工業）	流谷 翔（葛西工業）	
	岡田 照永（館林）	武田 倅奈（鶴岡北）	菅井 陽斗（米沢工業）	
	古川 日向（宇都宮工業）	小縣 咲輝（館林女子）	西田 智陽（木曽青峰）	
	後藤 結人（越谷西）	矢野 智嗣（春日部工業）	金井 拓斗（流山おおたかの森）	
	田原 健汰（宇都宮工業）	長谷川 羽音（前橋工業）	天笠 晴斗（桐生清桜）	
	千喜良 悠斗（宇都宮北）	瀨野 友菜（春日部女子）	田高 幹也（本庄）	

2025年度 日本工業大学大川陽康奨学金受給者

専攻	氏名（出身校）	専攻	氏名（出身校）
機械システム工学専攻	藤沼 響輝（小山）	電子情報メディア工学専攻	吉岡 理音（芝浦工業大学附属）
	高城 亮（川越工業）		出井 翔真（久喜北陽）
	福田 蒼馬（鴻巣）		糸井 崇人（伊勢崎）
	松本 幸大（春日部東）		大島 安人（上尾）
	藤村 佑樹（栃木翔南）		矢内 慈恩（鹿沼商工）
	関口 総司（新座総合技術）		渡辺 瑛士（太田工業）
	加藤 良季（与野）		初田 凌（淵江）
環境共生システム学専攻	岡信 鷹志（武蔵野）	建築デザイン学専攻	柏倉 桃子（栃木翔南）
	桑原 大和（いずみ）		勝沼 乙生（京業工業）
電子情報メディア工学専攻	後藤 輝（三郷）		石木 拓海（筑紫）
	渡邊 龍生（栃木工業）		酒井 雅尚（越谷南）
	仲野 壮（豊岡）		興津 真知（市川）

担 伴雅人教授

◆総合研究センター長兼教授

◆教務部事務部長 松永浩徳

◆入試部長・総合企画室

◆入試課長補佐 戸部大輔

◆総合企画室課長補佐 小泉拓也

◆高大連携推進室主任 中島秀行

◆財務課主任 青木健治

◆財務課主任 小笠原直範

◆教務課主任 吉澤慎吾

◆就職支援課主任 道家里子

◆就職支援課主任 小野瀨香苗

◆総合企画室主任 藤巻受宏

◆総合企画室主任 益田基和

◆LCセンター事務課主任 飯島貴子

◆LCセンター事務課主任 中村久美子

◆【配置換】（4月1日付）

◆龍山雄太教務課員入試課に異動

◆田中瑞樹財務課員留学生センターに異動



協定書を交わした竹内学長(左)と竹村署長

「現代の科学技術でも、地震などの自然災害を予知して被害を完全に防ぐことはできない。関係機関が連携し、大きな災害時でも小さな被害に留められるよう努めていく必要がある」と協定の意義を強調した。

これに対し竹内学長は「南海トラフ地震が想定される昨今、有事の際の拠点として本学が貢献できることになり、大変嬉しい。自然災害に対する協力という協定の主旨を踏まえ、安心・安全なまちづくりの実現に向けて連携を強化していきたい」と期待した。



本学ブースは多くの来場者で賑わった

1月11日、宮代町「新しい村」を会場に、地域連携センターが実施する授業「地域活動リテラシー」「地域活動演習」を受講した学生と地域の方々が協力し「トウブコの冬2025」を開催した。

モノを楽しむ「トウブコの冬マルシェ」を中心に、「なかたちプロジェクト」の学生が全体を統括し、授業の活動成果を紹介するパネル展示とともに、「空間活動プロジェクト」による屋台、「防災ワイルドビクニックプロジェクト」と「こどものあそびプロジェクト」の体験会等を実施し、多くの来場者が楽しんだ。

人事異動

【任用】（4月1日付）

◆田中道昭教授（専門職大学院）

◆田村直治教授（学修支援センター）

◆山田直子教授（学修支援センター）

◆小笹文雄教授（専門職大学院）

◆樋口諒准教授（建築学部建築学科）

◆古賀蘭子准教授（建築学部建築学科）

◆澤田準助教（先進工学部情報メディア工学科）

◆細沼恵里助教（先進工学部データサイエンス学科）

◆藤井佑太朗助教（建築学部建築学科）

◆松永浩徳事務職員（教務部）

◆望月肇事務職員（入試部）

◆小野瀬香由事務職員（就職支援課）

◆小川大輔事務職員（就職支援課）

◆田中正樹事務職員（高大連携推進室）

◆工藤美和 嘱託職員（専門職大学院）

◆原渡囑託職員（NITEMS本部）

◆山縣広和准教授（ロボティクス学科）

◆大田健紘助教（電気情報工学科）↓准教授に昇任

◆大田健紘助教（電気情報工学科）↓准教授に昇任

◆副学長 吉野秀明教授

◆学長補佐（専門職大学院担当）小田恭市教授

◆学長補佐 豊田清明教授

◆教育研究推進室長 服部邦彦教授

◆大学院技術経営研究科長 清水弘教授

◆大学院技術経営研究科副研究科長 三宅将之教授

◆産学連携センター長兼担 古閑伸裕教授

◆インテリアデザインラボ所長兼担 足立真教授

◆学生支援部長補佐 中尾比早子准教授

◆教務部事務部長 松永浩徳

◆入試部長・総合企画室

6/8日

個別進学相談、大学・学科・キャンパス紹介、研究室紹介、実験体験など

学部2年・3年生
大学院1年生の
保護者対象

5/24(土)

会場：5号館

入場無料

保護者のための
就職ガイダンス

長兼務 望月 肇

◆入試部付課長（分析担当） 大塚竹郎

◆就職支援課長 日下部真樹

◆入試課長補佐 戸部大輔

◆総合企画室課長補佐 小泉拓也

◆高大連携推進室主任 中島秀行

◆財務課主任 青木健治

◆財務課主任 小笠原直範

◆教務課主任 吉澤慎吾

◆就職支援課主任 道家里子

◆就職支援課主任 小野瀨香苗

◆総合企画室主任 藤巻受宏

◆総合企画室主任 益田基和

◆LCセンター事務課主任 飯島貴子

◆LCセンター事務課主任 中村久美子

◆【配置換】（4月1日付）

◆龍山雄太教務課員入試課に異動

◆田中瑞樹財務課員留学生センターに異動

災害時、本学施設の一時使用で協力

1月14日、本学と杉戸警察署（埼玉県杉戸町）に協働して取り組むことを目的としている。協定締結式は埼玉キャンパスで執り行われ、竹内貞雄学長と竹村久署長が協定書に署名した。竹村署長は「現代の科学技術でも、地震などの自然災害を予知して被害を完全に防ぐことはできない。関係機関が連携し、大きな災害時でも小さな被害に留められるよう努めていく必要がある」と協定の意義を強調した。

これに対し竹内学長は「南海トラフ地震が想定される昨今、有事の際の拠点として本学が貢献できることになり、大変嬉しい。自然災害に対する協力という協定の主旨を踏まえ、安心・安全なまちづくりの実現に向けて連携を強化していきたい」と期待した。

11月23日、白岡市生涯学習センター「こもれびの森まつり」にカレッジマイスタープログラムの2つの工房が参加した。フィジカルコンピューティング工房は、センサーやカメラを使ったコンピュータの操作体験と

して、参加者の体にセンサーを付けて手足を動かして、画面上のサッカーボールを蹴るなどの体験会を行った。

フォーミュラ工房は昨年の学生フォーミュラ大会で総合6位に入賞した車両を展示した。参加者はコックピットに座って記念撮影をしたり、技術的な質問をしたりするなど賑やかに楽しんでいた。

宮代町だより 253号

宮代町のSNSを要チェック！

新入生の皆さんへ、入学おめでとうございませう。自然環境に恵まれた宮代町で、これからの大学生活を大いに楽しんでください。

町の情報は、公式ホームページのほか、LINEやX、Instagram、YouTubeで発信しています。ぜひ各SNSへの登録をお願いします。お問い合わせは、公式SNS

学部2年・3年生
大学院1年生の
保護者対象

5/24(土)

会場：5号館

入場無料